



株式会社 ファルマ

弘前市北横町 19-1
Tel 0172-37-6016(代)

発行：編集委員会
印刷：小野印刷

■ 第 191 号 ■

共同組織や地域の繋がりを再確認

本部 課長 鈴木 健仁

9月29日(日)～30日(月)岡山県で開催された共同組織活動交流集会へ参加しました。1日目の全体会では、岡山県立岡山商業高等学校書道部による書道パフォーマンスから始まり、全国からの基調報告や能登半島地震の支援活動、松元ヒロさんの記念ライブがありました。2日目の分科会では、ハンセン病療養所等を見学する動く分科会もありましたが、私はファルマで行っている出張出前講座の取り組みについて発表してきました。

1日目の全体会では、能登半島の現状が報告されました。地震からの復興もまだの中で台風の被害も重なり、大変な状況の中で奮闘している状況が報告されました。1日目の最後の松元ヒロさんのライブは初めて観ましたが、「テレビで会えない芸人」というだけあって、かなりの毒舌で会場は大盛り上がりでした。

2日目の分科会は「民医連職員共同組織がいつしよにすすめるとりくみ」での発表となりました。出前講座の内容を発表しましたが、薬局が

これほど、地域に出て活動していることに驚いた方や、人気の講座は何かなどの意見や質問をいただきました。私が参加した分科会では大阪の淀川勤労者厚生協会から公害病の「PFAS」についての取り組みも報告されました。分科会では、3演題毎の発表後に4人位で軽く意見交換をするスモールディスカッションを取り入れたことで、他県連との交流もでき大変有意義な分科会となりました。

今回、交流集会に参加して共同組織や地域の繋がりの重要性を再確認しました。



会場で書道パフォーマンスがあり盛り上がりがありました

仲間と一緒に成長していく

技術部長 藤代薬局薬局長 木村 匡宏

9月25日(水)に第46期全日本民医連職員育成責任者会議にWebで参加しました。全国から300名を超える参加者でした。会議の中で「人権と共同のいとなみを大切にする組織文化の中で発達する私たち」という題で全日本民医連副会長の山本一視氏による学習講演が行われました。講演では民医連の医療介護の活動の二つの柱である①「貧困と格差、超高齢社会に立ち向かう無差別平等の医療・介護の実践」②「安全、倫理、共同のいとなみを軸とした総合的な医療・介護の質の向上」を職員一人ひとりが成長しながら実践に結びつけていくことを強調されていました。私自身が民医連に身を置いている18年間をどの

ように成長してきたか进行振り返りながら受講しました。出会った患者様、目の前にいる患者様にとつての最善とは何かを自分なりに考え、学び、同僚や多職種の方と語り、実践して成功や失敗の体験を通して理解を深め、職場や役割の変更の経験をして現在の知識や技術、価値観を身につけてきたことを振り返ることができました。

今回の学習を生かして、これからも「人権」



学習公演を聴き学びました

と「共同のいとなみ」を中心に据えながら仲間と一緒に成長していくように精進します。

現場の声を届けることの大切さ

ファルマ弘前薬局 乗田 沙緒莉

9月26日(木)日比谷公園音楽堂で行われた「医療・介護・福祉に国の予算を増やせ! 9・26総行動いのちまもれ」の現地集會に参加しました。現地には約2400人が集まり、全国から民医連をはじめ医療連など様々な団体が参加し、青森県からは6人が参加しました。現地だけではなく、オンラインでも配信し約200団体が参加したという報告がありました。13時～14時半までは、演説やトークショーを聴きました。松元ヒロさんのトークショーでは、今の

政治に対して笑いを交えて話していたため、笑いもありながら会場全体から共感を得ていました。かけつけてくれた国会議員の演説では、国会でマイナ保険証の推進ではなく現行の保険証を残してほしいということや国家予算を軍事費ではなく医療費などの社会保障の充実にあててほしいと議論していました。リレートークではまず石川県能登半島地震の報告があり、9カ月過ぎた現在でも復旧がなかなか進んでいないこと、さらには線

状降水帯による災害の現状を訴え、医療や介護、保育の現場からも現状の厳しい状況を主張していました。集會の後、行進開始まで時間がかかりました。東京は日差しがあたるとまだ暑かったですが、行進した銀座は大きなビルがたたくさんあるため日影も多く、あまり暑さを感じることもなく行進することができました。初めて、県外の現地集會に参加させていただき、規模の大きさに驚きました。国会で訴えても聴いてもらえない状況と知り、聞いてもらえないから訴えないのではなく、訴え続けることで知ってもらいたいことも大切だと思いました。



銀座を行進しアピールしました

ないから訴えないのではなく、訴え続けることで知ってもらいたいことも大切だと思いました。

8/4 津軽保健生協板柳支部へ出前講座

8月4日(日)津軽保健生協板柳支部主催の出前講座が「お薬・サプリメントの飲み合わせ」をテーマに健康の森花岡プラザ(青森市浪岡地区)で開催され、18名が参加しました。講師はファルマ浪岡薬局の高橋薬局長で、「膝のサプリメントは効くのか」や「骨粗しょう症の薬はどの位時間をあけるのか」など質問がありました。



たくさん参加者の方が高橋薬局長の話を熱心に聴いていました

8/11 東部仲町町会で出前講座

8月11日(日)東部仲町町会主催の出前講座が「おくすりのお話」をテーマに弘前市社会福祉センターで開催されました。講師は弘前調剤センターの佐藤薬局長で、お薬の管理方法や飲み方、剤型の選択やお薬手帳の必要性などについて講演しました。



スライドを使ってわかりやすく話す佐藤薬局長

PFAS問題を考える

ファルマ弘前薬局 課長補佐 工藤 由希子

9月14日(土)全日本民医連PFAS問題委員会主催の全日本民医連第1回PFAS問題交流会がオンラインで開催されました。まず、北海道大学大学院保健科学研究院の池田敦子教授より「胎児期におけるPFAS曝露の健康影響、環境と健康に関する北海道スタディの結果から」をテーマに、そして、京都大学大学院医学研究科の原田浩二准教授より「PFASの健康影響調査事例とその研究デザイン」をテーマにお話しいただき、最後は各地からの指定報告がありました。

PFAS(有機フッ素化合物)

は、泡消火剤に使われていることから、米軍基地や自衛隊基地付近の水道水からPFASが検出されています。また、衣服や調理器具など私たちの身近なものにも使用されており、食物やハウスダストなどから体内に入り蓄積されます。「PFAS」については、まだまだ調査や研究が必要ではありますが、低濃度であっても様々な健康影響がある可能性が示されており、私たちはこの問題を真剣に考えていかなければなりません。地域住民の健康を守るために、私たち民医連職員は、学び、考え、実行してい



講義をZOOMで聴きPFASについて考えました

くべきだと私は考えます。危険であることが実証されるのは、環境が汚染、破壊され、生命、健康が破壊されたときである。危険であることが証明されていないから廃棄物を放出するということは、地域住民を人体実験に供することにほかならない。『水俣病』原田正純著 岩波新書1972

一人ひとりに寄り添った支援と救済を求めます

本部 総務部長 舘田 総子

8月31日(土)から2日間にわたり第51回中央社会保障学校が開催されました。当初、大阪市メイン会場と全国各地をオンラインでつなぎハイブリッド形式で開催する予定でしたが、台風10号の影響により急遽、全員オンラインに切り替わりました。まず、主催者から中央社保障学校の歴史についてお話をいただきました。

今年のメインテーマは「震災復興から自治体の革新へ、民主主義の道を歩もう」と掲げ、1日目の全体会は『災害復興政策の根本問題』について追手門学院大学の田中正人教授の講演でした。自然災害年表に復興関連法制度を並べてご紹介いただき



ZOOMで現地の報告を聴いている舘田部長

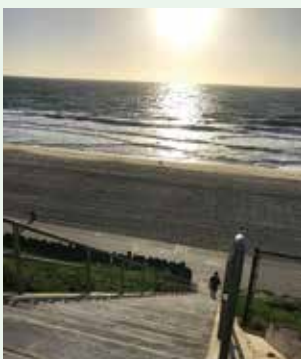
ました。災害復興は誰のためなのか、何のために行うのか。その多くが国や県、自治体が中心となり被災者の声が行き届かない法制やインフラ建設のようです。被災者同士またはボランティア頼りの共助だけでは被災した一人ひとりの権利は守られません。被災者個々の事情(高齢者、子ども、障がい者、女性)に寄り添った支援と救済を国の責任で行うべきだと強く思いました。

21才のわたし

ファルマ弘前薬局 薬剤師 小野 孝太

こちらは、21歳の時に渡航先のロサンゼルスで撮影したものです。観光地から少し離れた静かな浜辺で、沈む夕陽とたまたま一緒に撮影できたお気に入りの写真です。大学3年生の春休み、期末テストも終わり遊びに興じていた私は、すぐに金欠に陥りました。よく言う大学生は時間があるのに、金はないってやつです。

コミュ障・ろくなバイト経験なしということでバイト探しが億劫になっていた最中、叔父からロサンゼルスで仕事を手伝ってくれないかと誘われ快諾。急遽3週間現地でご居候させてもらうことに。内容は主にファッション通販の画像編集・出品代行で、これを機にパソコン作業とファッションが大好きになりました。単身渡米という形だったので移動中はとにかく全てが不安で、中でも1番不安だったのが入国審査です。黒人の入国審査官が肘をつき睨みを利かせながら容赦ない流暢な英語で質問してきたのは今でも覚えています。ガチガチに緊張していたため、質問はほぼ聞き取れず、「sightseeing(観光)」と一言。なぜか無事に入国できました。入国審査で困った時はぜひ使ってみてください。叔父の厚意もあり滞在中はハイキングでビーチや天文台など様々な観光名所を回ることができました。しかし、入国審査も然り、行く先々で常に付きまとってくるのが言語の壁でした。私自身旅行が好きで、1人で海外旅行に行くのが目標の一つでもあるので英語学習にも力を入れていけたらと思っています。



ロサンゼルスで見た美しい夕陽

目標達成に向けて

黒石薬局 津川 なつみ

9月7日(土)ファルマ事務委員会主催の事務目標発表会・交流会が本社会議室で行われました。前半は目標発表会で、前年度の振り返りと今年度の目標を一人ずつ発表し、質問や感じたことなどを出し合いました。後半は民医連の事務職員として求められていることをどのように取り組んでいく必要があるのかを3つの分野に分けて意見を出し合いました。目標も同様で、ただ立てただけではなく達成させるために何をしたら重要になるので、毎月目標に近づけてい



全員で意見を出し合い議論しました

るのか振り返りながら取り組むたいと改めて思いました。更に目標の共有もしていることで事務職員皆で達成に向けて取り組んでいきたいです。

写真紹介

9/21 弘前市暮らしの保健室へ出前講座

9月21日(土)弘前市暮らしの保健室主催の出前講座が「薬がいらない生活習慣の作り方〜健康で長生きするために〜」をテーマに開催されました。講師は藤代薬局の水木薬剤師で、日々の生活の改善点や薬の見直しなどについて講演しました



参加者の質問に答えている水木薬剤師

9/1 黒石支部健康まつり

9月1日(日)津軽保健生活協同組合黒石支部主催の健康まつりが松の湯交流館で開催されました。黒石診療所の長谷川弘美先生の講演や健康チェック、OTC商品の販売や健康体操、落語やくじ大会など様々な催しがあり、40名近い参加者が集まりました。



参加者の健康チェックをしている大川薬局長

9/7 中弘地区母親大会連絡会へ出前講座

9月7日(土)中弘地区母親大会連絡会主催の出前講座が「介護保険の現状と今後について」をテーマに健生病院附属棟会議室で開催され25名が参加しました。講師は居宅介護支援事業所ファルマの伊勢主任で、介護保険制度の概要や改定の影響などについて講演しました。



介護制度について講義をしている伊勢主任

9/29 憲法9条守れ戦争法廃止!集会とパレード

9月29日(日)弘前駅前りんご広場で「第80回憲法9条守れ、戦争法廃止!弘前集会とパレード」が開催され、ファルマから7名が参加しました。



秋晴れの中、弘前駅前パレードを行いました